

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
・区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)
・果物 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
・音楽教室 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1 三起ビル302 Tel.044-750-8992
・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉GSビル2F Tel.044-430-6963
・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
・鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
・ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
・パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
・カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル1F Tel.044-434-4342
・コーヒー専門 MUI(旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
・カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
・コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
・時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
・広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
・ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
・理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273
・コインランドリーマンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217
●元住吉東口(オズ商店街通り)
・カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
・調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
・飲み喰い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
・古本・CD 凸と凹と 中原区木月2-10-3
・イタリア料理 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5644
・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
・ステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
・鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
●元住吉近郊
・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688
●武蔵小杉近郊
・喫茶店 Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
・カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822
●東横線沿線
・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
・カフェレストラン カンファーマ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 2018 FEBRUARY ISSUE 発行人:塚田親一 発行音楽好きな友の会 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町33-7 棟アルケファクトリー内 TEL 044-797-2430 2018-1-18-800 PrintingRk

M MAGAZINE

February

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories



http://ontomo.jp/

元住吉の気軽な音楽会
後援:
「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 /rk-factory

2018 2月号

2月4日(日)13:30~
2月18日(日)13:30~
音友レコード倶楽部
場所イダカフェ

2月15日(木)12:10~
ランチタイム
ロビーコンサート
場所川崎市生涯学習プラザ

2月16日(金)19:00~
永瀬 晋
アコースティック・ナイトライブ
場所イダカフェ

2月27日(火)13:50~
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
場所イダカフェ



Ella Jane Fitzgerald / エラ・フィッツジェラルド(1917-1996)
アメリカ合衆国のジャズ・シンガー。
アメリカ合衆国のジャズ・シンガー。
ピリー・ホリデイ、サラ・ヴォーンと並び称される20世紀の女性トップ・ジャズ・ボーカリストの1人。
13回のグラミー賞受賞に加え、イェール、ダートマス、プリンストン大学において名誉博士号を授与され、ジョージ・W・ブッシュからは大統領自由勲章を授与されるなどレコードセールス、批評の両面で高い評価を受けた。(写真・文ともにウィキペディアより)

田島華乃のお知らせ

ママのおひざで聴く ヴァイオリンコンサート

2月27日(火)「イダカフェ」
開場:13:30/コンサート:13:50~14:30
コンサートの前後はちびバイオリン体験コーナーです。
★参加費 親子1組:2,500円

コンサート終了後の15:00~15:30~イダカフェで個人レッスンをします。(限定2名)
★1人1台レンタル楽器を用意します。
★お子さん、ママさんどちらでもOK

●お問い合わせ・お申し込み音の家otonoya
https://otonoya.jimdo.com/
会場:イダカフェ 元住吉駅から徒歩10分



ヴァイオリニストの 田島華乃です。

連載 24 2月はクライスラー



月に1度、イダカフェで行っている「ママのおひざで聴くヴァイオリン」。本格クラシック曲を聴いてもらう事もとても大切にしているので、コンサートでとりあげる作曲家についてお話しする事にします。
1875年の2月2日にウィーンで生まれたクライスラー。3歳からヴァイオリンを始め、プレイヤーとしての活動も成功をおさめまし



た。既存曲の演奏のみならず、自身で作曲も始めたのは20歳をすぎた頃から。悲しい出来事があった時に作った『愛の喜び』、嬉しい出来事があった時に作った『愛のかなしみ』...少々、偏屈なところがあったようです。また、他の作曲家にはない珍しい点としては、『〇〇(偉大な作曲家)のテーマによる』という

作品が多いです。例えば、ベートーヴェンの主題によるロンドー、コレリリの主題による変奏曲、などなど。虎の威を借るなどやら、のようですね。そして、奥様が随分としっかりした方で、クライスラーの出演料の交渉やスケジュール調整などは任せきりだったそうです。
2月の親子コンサートでは、そんなクライスラーの作品を演奏します。お楽しみに!



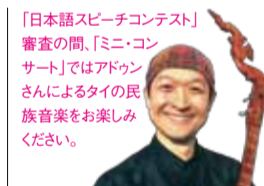
川崎市国際交流センター

①第23回 外国人市民による「日本語スピーチコンテスト」
2月10日(土)
13:00~15:30(無料)
定員100名
コンテストの後、交流会があります。参加費:無料
申込:電話・FAX/メール・直接来館にて

②第19回 地球市民講座
2月24日(土)
14:00~16:00(無料)
定員100名
第1部:横浜国大 藤掛洋子氏による講演
第2部:南米パラグアイのスラムでの大学生の活動報告
第3部: グループディスカッション

③ナイター寄席★えいごで落語 出演:立川志の春
2月24日(土)
17:00~お抹茶席(木月庵)
18:00~19:00英語落語 木戸銭:2,000円(30名)
申込:往復はがきのみ
1月31日(水)必着
※詳細はお気軽にお問い合わせ下さい

●お問い合わせ・お申し込み(公財)川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kawasaki@kian.or.jp
川崎市中区木月祇園町2-2
元住吉駅から徒歩10分



●お問い合わせ(公財)川崎市生涯学習財団
総務室企画情報係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中区今井南町28-41

川崎市生涯学習プラザ

第63回 ランチタイムロビーコンサート

2018年2月15日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演:シャルール・アンサンブル(クラリネット、ホルン、ユーフォニアム、チューバ)
●内容:私達、シャルール・アンサンブルは、クラリネット2本、ホルン、ユーフォニアム、チューバと変わった編成のアンサンブル

で、木管5重奏とも金管5重奏とも違う 両方の良いところを生かした温かなサウンドが特徴です。シャルールとは、フランス語で温もりを意味します。みなさんの心に温もりをお届けできるように演奏致します!

●曲目:
・ハウルの動く城メドレー
・アイネクライネナハトムジーク
・星に願いを
・フォスター・ソング・ファンタジー
・Fly me to the moon



音楽を通して気さくに語り合える集いです。 音友レコード倶楽部

ONTOMO Music Record Club

2月4日(日)/2月18日(日) 午後1:30~午後4:30
イダナカ商店街・井田小学校正門前「イダカフェ」 参加費¥500 飲み物¥500円(クッキー付き)

2月18日は、現代版ジャズ女性ボーカル特集

ジャズの女性ボーカルにはエラ・フィッツジェラルド、サラ・ボーン、カーメン・マクレエなどベテラン勢の方々が沢山います。今回音友レコード倶楽部は若手の女性ジャズボーカルに焦点を当てて特集をします。ジャズの女性ボーカルは今やアメリカのみならず、かなりワールド・ワイドに展開していますので、なるべく多くの方々を紹介できればと思います。



▲They Oughta Write A Song/Halie Loren

音楽が好きの方、一緒に楽しみませんか?ボランティアスタッフ募集中!

レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営と一緒に楽しみませんか?年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で。いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!



音楽好きな友の会 Music Enjoy Club
入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)

イダカフェ&クールダウンJ

2月16日(金)19:00~(チャージ¥500)
永瀬 晋アコースティック・ナイトライブINイダカフェ

●お問い合わせイダカフェ
E-mail:info@ida-cafe.com

今宵はブルースギターの魅力を
楽しめるライブでお過ごしください

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!
音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。
元住吉駅西口下車、ブレイメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

★ida cafe Friday Night★
Cool Down-J.

ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School

http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
AM8:00/PM22:00start

フォレストコーヒー

イダナカ商店街店&サライ通り店
中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭

ブレイメン通り商店街、鉄板焼き
中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30
(LO 22:00) (休:火曜日)

モトスミ Jazz Night

●モトスミJazz Night委員会HP
http://motosumijazznight.org/ ●Tel:050-5275-5740

連載17 私とジャズ 松波陽介

みんなが手を取り合い明るい未来へ。

Why can't we be friends

I seen ya I seen ya I seen ya 'round for a long long time
I really I really I really remember when you drank my wine
Why can't we be friends
I seen ya I seen ya I seen ya walkin' down in Chinatown
I called ya I called ya I called but you did not look around
I pay my I pay my I pay my money to the welfare line
I seen ya I seen ya I seen ya standing in it everytime
Why can't we be friends
The color the color the color of your skin don't matter to me
As long as as long as long as we can live in harmony
I kinda I kinda I kinda like to be the president
And I could and I could and I could show you how your money's spent
Why can't we be friends
Sometimes I don't speak right
But did I know what I was talking about
I know you're working for the CIA
They wouldn't have you in the mafia]

この曲はベトナム戦争の時に発表された曲で、そのバンド名はWar。まさにベトナム戦争へ反発するかのよう形で発表されアルバムでした。曲の印象としては、初めて聞いたときは正直…あまりうまく演奏している、という感じはなくなるとくみんなが集まってセッションしたものを音源にした、といった感じでした。しかし、聞けば聞くほど、歌詞を噛み砕いて理解するほど、なんて内容の濃い曲なのだ



▲エルサレム

した。また時期的なことも合間ってか、アルバムの表題曲の「Why can't we be friends」はシングルカットされ、全米R&Bチャートで9位、ポップチャートに至っては6位をとった曲で、当時の世の中でたくさんの人によって聞かれた曲である、ということがわかります。

今回はどうしてこの曲を取り上げたかという、最近中東はパレスチナを中心としたイスラエルなどでの問題に関して少し考えることがあったからです。今話題になっているイスラエルのエルサレムはユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地でありました。そこからキリスト教の一部は西(今のヨー

ロッパにあたる部分)に領土を拡大しき協会の権力を強めていきました。エルサレムに残ったキリスト教は西に向かったキリスト教から異端視をされるようになりました。ここで、イスラム教の国家であったアッパース朝は異端視されキリスト教の彼らを積極的に受け入れ、ギリシャ哲学などを発展させていきました。そして、そのギリシャ哲学を中心とした文化が発展して行き、その文化が西欧に伝えられ、西欧も発展を遂げていく、という流れがあったのです。つまり、今日私たちが享受している文化的な生活はこの紀元前から始まった歴史的な流れがあってこそのものであるのではないかと考えられます。しかし、我々現代人からすると、そのようなギリシャ哲学は西欧で発展していったのだ、ということになんの疑問も持たないと思います。が、正確な観点から推察していくと、もしかしたらこの西欧中心主義、ということが意外に間違っている可能性がある、ということを示唆しているのかもしれません。



▲War「Why can't we be friends」

エルサレムからはギリシャ哲学以外にも様々な文化が西欧に伝わりました。例えば、数学やコンパスなどの技術など、多岐に渡ります。その中でも「音楽」にも大きな影響を与えたのではないかと、ということが考えられます。確かにキリスト教の礼拝の中心である賛美歌などは、西欧の独自の文化であるということが考えられますが、例えばバッハの考えた12平均律などは、もしかしたら東方のエルサレムからきた数学などの技術を使って考えられたのではないかと、考えることもできるのです。

このようにイスラエル・エルサレムは、実は文明の結節点でもあり、先に挙げた3宗教にとっては聖地でもあり重要な場所である、ということがわかると同時に、この場所を巡って争いが起こることは非常に不毛なことである、ということを考えます。みんなが友だちになり手を取り合い、仲良く過ごすことは本当に難しいことなのか?ということを考える今日この頃です。

連載14 4ビートに首っつけ

ライブって素晴らしい!
CDじゃわからない事って一杯あるのですね。

地元マスターのジャズ談話
BIANCA店主 長谷部 徹

私はロン・カーターの本当の素晴らしさに今まで全く気付いていませんでした! 本誌12月号でザ・グレートジャズトリオを紹介させていただいたのですが、そのベーシストであるロン・カーターのライブを先日、ブルー・ノート東京で観て来ました。(写真①)あまりに感動してしまい、興奮が醒めないでのご報告させていただきます。

今回の公演はロン・カーターの80歳記念ライブという事で、ピアノにケニー・バロンを迎え、フロントはツインアルトサクソフ、ドラムスを加えた5人編成でした。ツインアルトはドナルド・ハリソンとアントニオ・ハート。2人とも自分のコンボを組んでツアーするくらいの実力派ですね。

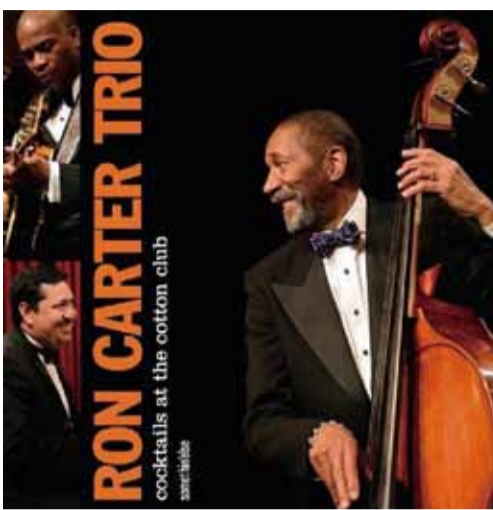
当日は早目に行った友人のおかげで、一番前のテーブルで観る事ができました。ケニー・バロンまで2メートル、ロン・カーターまで5メートルの距離だったでしょうか。メンバーが控室から出てきて、ステージに上がった瞬間に鳥肌が立つ程感動してしまいました。何しろカッコ良い! 5人の黒人がそれぞれグレーのスーツに身をかため、ニコリとせよ楽器をスタンバイする様子は「ここは50年代のニューヨークか!」と思う程です。ロン・カーターは長身でスリムでしかも立ち姿がピシッと決まっている。とても80歳なんて思えない美しさです。フロントの二人も「ただ者じゃ無い感」がむんむんと伝わってきました。ケニー・バロンも大物的な余裕が漂っていて威圧感がありました。考えてみれば全員が(ドラムの方は分かりませんが)リーダーアルバムを出すようなジャズマンの集まりですから迫力があって当たり前ですね。



▲①当日のRon Carter/バンフレット

演奏はテーマのカッコ良いハードバップ的な曲から始まり、2曲目は「しっとり」オクターブ・リーブズ」、最後にはベースソロの曲、アンコールではケニーとロンのデュオで綺麗なスローバラードを聴かせてくれました。とても親密で暖かい1時間30分の演奏でした。ステージ上の彼らも、観ている我々もすっかりリラックスして、「ああ、気持ちの良い時間を共有しているなあ」と実感できるステージでした。本来、ジャズってこういうものじゃないのかな? ひと時、仕事や生活の事を忘れ、軽くお酒を飲みながら心地の良いリズムとメロディに満たされ、そして心が融けていく。スタジオの中だけで実験的に演奏されるものではなく、観客と一緒に作るものだと思います。強く印象に残ったのは、ロン・カーターの眼差しでした。この日、絶好調のアントニオ・ハートの演奏中は後ろから嬉しそうに微笑みかけ、ちょっと調子の出なかったドナルド・ハリソンには励ますような、慈悲深い眼差しを送っていました。ケニー・バロンとは良い相棒と言う感じで、たまに眼を合わせては頷きあっていました。その全ての眼差しが柔らかく、暖かく、しかも確信に満ちている。今回の公演は80歳のお爺さんが記念にやったものではなく、パリの現役ベーシストがバンドリーダーとして上質なステージを提供したものだと思いました。

アルバムを1枚紹介させていただきますね。今回のステージに雰囲気の近い



▲②Cocktails at Cotton Club

るものではなく、観客と一緒に作るものだと思います。強く印象に残ったのは、ロン・カーターの眼差しでした。この日、絶好調のアントニオ・ハートの演奏中は後ろから嬉しそうに微笑みかけ、ちょっと調子の出なかったドナルド・ハリソンには励ますような、慈悲深い眼差しを送っていました。ケニー・バロンとは良い相棒と言う感じで、たまに眼を合わせては頷きあっていました。その全ての眼差しが柔らかく、暖かく、しかも確信に満ちている。今回の公演は80歳のお爺さんが記念にやったものではなく、パリの現役ベーシストがバンドリーダーとして上質なステージを提供したものだと思いました。アルバムを1枚紹介させていただきますね。今回のステージに雰囲気の近い

ものを探してみました。5年前の今日(奇遇ですね。12月15日)丸の内コトククラブでのライブ録音、「コトククラブでカクテルを」(写真②)。正直に言って、この題名は無いよと思いますが、そこは大目に見ましょう(笑)。1曲目の「SATIN DOLL」はカッコ良い。2曲目、ロンのオリジナル「MR.BOW-TIE」が一番のお気に入りになりました。哀愁のあるラテン調のナンバーです。その後も心地よい演奏が最後まで続きます。5年の月日は流れていますが、今回のブルー・ノートと似た空気感を感じました。そうそう最後になりましたが、この日気付いたロン・カーターの本当の素晴らしさとは「優しい人柄」です。言葉にすると陳腐な表現になってしまいますね。でも、これ、本当です。

音友会 2017年12月音友会

レコード掘り出しに華が咲き...

音友会の催しはレコード鑑賞、ライブ有りなので積極的に参加して楽しんでいきます。

昨年度最後ポップスとしてのジャズカフェは寒い中で開催。クリスマスが近いせいか下打ち合わせが無いにもかかわらず、山下達郎の「クリスマス・イブ」定番の「サンタが街にやってくる」「ホワイトクリスマス」等プレ・クリスマスの雰囲気が醸し出されました。

どのようにしてこれらの素敵なアルバム、曲を見つけたかという事が話題に上がりました。

一人の方は1970年代のAORを中心に選曲されましたが、当時はインターネットも普及しておらず、各種音楽雑誌(スイング・ジャーナル、ADLIB、ミュージック・マガジン等)を読んだり、行きつけの輸入レコード店(パイド・ペーパー・ハウス、メロディー・ハウス、WAVE等)、音楽喫茶あるいはジャズ・バーのオーナーが推薦するアルバム、友人等からの情報より自分にあつたものを選別していったそうです。

現代においてはインターネットがそれに代わり、以前と比較するとある程度の情報収集は簡単にできるようになりましたが、当時のレコード店廻り等が懐かしく感じられるそうです。

また、毎回、好きな曲をコンビネーションされる参加の方は好きな曲へのこだわりがあり、更に同じ曲でも演奏しているミュージシャンにより好みがあるそうです。幅広いジャンルでしかも日本のミュージシャンも含め選曲しており、センスの良さには脱帽ものです。

今回も皆さんジャズ・ポップスとそれぞれ好きなアルバムを持参したり、自分が聴いた事がない貴重な曲、ミュージシャンを聴けることが楽しみとなっています。今年も音楽好きの交流の場として私自身、積極的に活動へ参加したいと思っています。

鑑賞した曲は「ザ・ジェントル・レイン」。“翼をください(英語Ver)”など鑑賞、興味のある方は是非参加していただき、音楽関連の会話の輪に参加願えればと思います。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲The Summer Knows /Louis Van Dijk Trio



▲The Gentle Rain /The Singers Unlimited



▲Hayley Sings Japanese Songs /Hayley

ジャズの歴史を学びながら楽しみました

16回目を迎えた東京ジャズ・フェスティバルは「ジャズレコード誕生100周年」で盛り上がりました。9月3日はジャズの歴史を振り返った企画で、「ビ・バップ」から「クール」に転じたコーナーには、マイルス・デイビスの「クールの誕生」(写真①)に9人編成メンバーの一員として参画していたリー・コニッツが来日演奏しました。その前日にラジオ番組で演奏したものをエアチェック持参されたゲストがおりました。90歳を迎え往年の勢いは失せたものの、時折

スキヤットを混えた記念すべき録音でした。スキヤット・ボーカルといえば前回はエラ・フィッツジェラルドを聴きましたが、今回はルイ・アームストロングに加えディジー・ガレスピーのポップ・スキヤット(写真②)も紹介いただきました。特集は「今年出会ったアルバムから」と題し、DJが今年入手した数々のレコードから9枚を選び、ご紹介していただきました。レコード店に何度も何度も足を運びやと探し求めたものばかりと推察しますが、惜しげも無く紹介いた

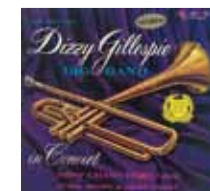
けるご配慮にいつもながら感謝します。流派という表現が適切かわかりませんが、SAXではレスター・ヤング系のスタン・ゲッツ、ワーデル・グレイ、3人目はスウィング系ながら50年代初頭よりかなりモダンになったコールマン・ホーキンス系のジョージ・オールドのアルバムからでした。三人とも「スウィング」から「モダン」に進化した演奏者と解説がありました。バド・パウエル派であるピアノのハンブトン・ホーズ(写真③)は兵役で日本に滞在していた頃、日本の若きミュ

ジヤン達に「ビ・バップ」を教え込んだ貢献度は大きいと話されていました。またドラムスのジャック・ディジョネットの長いソロを聴きましたが、短期間ビル・エヴァンストリオに参加していた1968年頃の演奏は、15年後にキース・ジャレット・トリオで小気味よいシンバルを鳴らしているものとは異なり迫力満点でした。最後はメル・トーマの「クリスマス・ソング」、ルビー・ブラフの演奏で蜚の光の原曲である「オールド・ラング・サイン」と粋な選曲で締められました。

初参加の方を含め8名の参加でしたが、クリスマス・イブということで配られましたフライド・チキンを美味しくいただきました。3時間のジャズ演奏にご満悦な様子でした。(K.T 記)



▲①Birth of the Cool



▲②Dizzy Gillespie and His Big Band



▲③Hamp's Piano/Hampton Hawes

Essay 「くじら座」日記 牧野くみ

私は時々ベースも弾くんです。

中学一年の時に吹奏楽部に入部。フルートを希望していたのですが、コントラバスを見てその存在感だけに一目ぼれ。希望を変えてコントラバスに。が、完全に見た目から入ったのでどんな音が出るのか全く知らず...実際は低音ばかり、華やかなフレーズもなければ目立つ音でもなく...なのに大きい。コンクールや発表会では移動が大変だし、何故選んでしまったんだろう...と毎日後悔ばかり。

高校卒業と同時に弾くのをやめ、大学生になって北海道から上京。ピアノと作詞作曲と歌のライブ活動に精を出していました。コントラバスとエレキベースは縦横こそ違えど運指が同じ。活動を続けてゆく中でご縁があり、「昔コントラバスを弾いていた」と言ったらエレキベースを弾く機会がありました。先日くじら座のオリジナル曲「ロベアといっしょ」の吹奏楽アレンジに携わらせ

て頂くことになり、大変だと思っていましたが吹奏楽部の経験が役に立ち、コントラバスを弾いていた日々は無駄ではありませんでした。作曲やアレンジをする上で、社交的な人・内気な人、人間にも様々な性格の人がいてそれぞれの得意な仕事があるように、音楽にもメロディーを担う音、支える音、色々な役割の音符があります。それぞれの音符がそれぞれの仕事をし、何一つ無駄なものなんてありません。



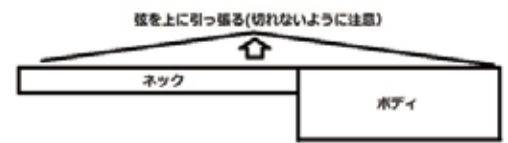
人間もそう、どんな人も必ず存在する意味があるのだと思うと同時に、気づけば昔よりもベースを演奏することが楽しくなっている自分がいました。

Essay Addicted to Guitar-2 永瀬 晋

第2回目になりました!

前号からお世話になってます、ソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回は折角ギター講師をやっているということもありまして、ギターに関するネタをご紹介していきたいと思ひます。早速一発目ですが、初心者の方に質問される内容で「チューニングが安定させるにはどうすればいいの?」といったお悩みをよく聞くことがあります。このチューニングが狂い

やすい原因に関しましては①「ギターの弦は金属である為ある程度は伸びる」②「チューニングが狂う原因は金属の伸びである」という感じです。何度か経験されたことがある方はわかるかもしれませんが、一度合わせたつもりでも、数分で音程がガクッと下がる場合があります。この対策としてはギターに新しい弦を張り替えた後は「弦を引っ張って伸ばす」⇒「チューニングする」の繰り返しを2、3回繰り返して



安定させるというのが正解です。金属弦のエレキギター、フォークギターなどはこれで間違いなく安定すると思ひます。(※ナイロン弦はかなり伸びるので、安定するまで時間が掛かります。) 良い演奏にチューニングの正確さは不可欠ですので、是非トライしてみてください!

という訳で今回はここまで!次回以降もご期待くださいませ(笑)



▲2017.12.22 イタカフェライブ